

令和8年(2026年)6月 発行

所報

<Shoho>

川崎市総合教育センター

〒213-0001 川崎市高津区溝口 6-9-3

《TEL》044-844-3600

《代表メール》88csomu@city.kawasaki.jp

《ホームページ》https://kawasaki-edu.jp/



探究を探究する

—子ども大人もともに学ぶ「かわさき探究2.0」の実現に向けて—

川崎市総合教育センター 所長 大野 恵美



これからの社会は、先行きが不透明で、正解が一つではない VUCA の時代と呼ばれています。このような時代を生き抜いていかなければならない子どもたちにとって、これからの学びに求められるのは、自ら問いを立て、考え、試行錯誤しながら納得解を見だしていく力です。自分なりの人生の選択を重ねていくためには、「なぜだろう」「どうしてだろう」「どうしたらそうなれるのだろう」という疑問や憧れをもち、探究を通して「問いをもつこと」「学び続けること」そのものを身に付けることが不可欠です。子どもが探究するということは、未来を生きるための準備であり、自分自身の人生を切り拓いていく力を育む営みだと言えます。

一方で、教育の在り方は決して子どもだけの課題ではありません。それは、急速に変化する社会の中で、私たち大人自身がどのように生きていくのかという問いと深く結びついています。先行きが見えず、答えがあらかじめ用意されていない時代において、子どもたちだけに「考える力」や「主体的に学ぶ力」を求めることはできません。今、求められているのは、大人がすでに答えをもつ存在ではなく、大人自身もまた、この時代をどう生きるかを問い続ける存在であることを認識する必要があります。大人が探究する姿勢こそが、この時代における学びの土台となり、子どもたちの探究を支える最も確かな力になります。

こうした中、今年度から新たにスタートした第3次川崎市教育振興基本計画第1期かわさき教育プランでは、これからの社会を見据えた教育の方向性が示されています。その中核の一つが、Key Project1に掲げられた「社会参画に向けた資質・能力を育成する探究的な学びの充実」です。これは、知識の習得にとどまらず、子どもたちが自ら問いを立て、考え、他者と対話・協働しながら社会に関わっていく力を、日常の学びを通してより一層育むことを目指すものです。

令和8年4月15日に開催された「教育課程部会 生活・総合的な学習・探究の時間ワーキンググループ(第6回)」においては、「探究的な学び」と「探究」の構造が整理されました。身近な疑問から始まる学びは、教科の探究的な学びを通して問いを深め、社会や地域とつながり、新たな価値を生み出す探究へと発展していきます。探究は特別な活動ではなく、日常の授業や学校生活の中に重なり合いながら存在し、子どもたちの学びを継続的に支えていくものとして示されています。

川崎市は、探究を進める上で大きな可能性をもつ地域です。企業、大学、研究機関、文化施設、そして地域で活動する多くの市民の方など、多様で豊かなリソースが集積しています。これらは、子どもたちが社会と直接つながりながら学ぶための、かけがえのない学習資源です。さらに、地域教育推進室との連携により、Key Project4が目指す「生涯を通じた「学び」と「学び合い」社会の実現」と Key Project1を一体的に進めることで、学校と地域が協働し、持続可能な学びへと育てていくことが可能となりました。

子どもと大人がともに学び続けるとき、社会はしなやかに、そして少しずつ変化していくことでしょう。だからこそ、今後も私たちは、探究を「探究し続ける」必要があると考えます。

令和8年度『所報』第1号

【巻頭言】探究を探究する	1
カリキュラムセンター	2
情報視聴覚センター	2
教育相談センター	3
特別支援教育センター	3
教育委員会研究推進校	4

カリキュラムセンター

目標と主な事務事業

- 1 学習指導要領に基づく教育課程の編成や教育活動の円滑な実施に向けた指導・支援の充実
- 2 教育課題への対応、施策研究、調査・基礎研究、教育実践に資する研究等の推進
- 3 教職員の資質や指導力向上を目指した研修の充実と研修推進体制の整備
- 4 各教科等研究会等との関連事業や各種教育課題関連事業等の円滑な実施
- 5 関係部署との連携と所内業務の効率的な執行

「探究的な学び推進事業」

自分たちで考え、解決する学びに向けて、子どもたちが地域・社会への参画を通してさまざまな資質・能力を育めるように、これまでの本市の取組をさらに発展させた「かわさき探究 2.0」を、すべての市立学校で実施します。

教育研究

教職員研修

学校支援

多様性を包摂し、自分や社会の未来をつくる資質・能力を育成するとともに、一人ひとりの「わかる」を大切にした教育の実現を目指します。そのために、学習指導要領、かわさき教育プラン等を踏まえて、教育諸課題に係る研究を行うとともに、研究成果を基に教職員の資質・能力を高め、学校の指導体制を支援しています。



「きめ細かな指導推進事業」

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、川崎市学習状況調査による学習状況の把握・分析を進めるとともに、指導形態や指導方法の研究実践、外部人材を活用した指導などを進めています。

情報・視聴覚センター

重点目標

情報・視聴覚センターでは「川崎市立学校におけるかわさき教育DX推進方針」に基づき「子どもの学び」「教職員の業務効率化」「教育DX推進のためのICT基盤整備」の3つの観点を柱として位置づけた11項目の取組について教育DXの推進を図ることを目標としています。

教育DX

子どもの学び
(かわさきGIGAスクール構想)

支える

教職員の業務効率化

支える

支える

教育DX推進のためのICT基盤整備

◆具体的には、かわさきGIGAスクール構想（学びのDX）推進協力校等との研究や教職員研修の充実を図っていきます。

◆他にも、視聴覚センター事業（視聴覚ライブラリーの運営、「わが町かわさき映像作品展」の充実等）に取り組んでいます。

主な取組

子どもの学び

- 1 児童生徒によるデータ利活用の推進
- 2 情報活用能力（情報モラル及び生成AIの利活用を含む）の育成
- 3 多様な学びにあわせたしくみの実現
- 4 デジタルコンテンツの活用推進

教職員の業務効率化

- 5 教職員によるデータ利活用の推進
- 6 クラウドツールの活用推進
- 7 生成AIの活用による業務支援
- 8 クラウド型校務支援システムの整備

教育DX推進のためのICT基盤整備

- 9 GIGA端末の着実な更新
- 10 強固なアクセス制御環境の構築と端末及びネットワークの統合
- 11 レジリエンスの確保

教育相談センター



←教育相談センターの事業全般については、
こちらの二次元コードでアクセスしてください

教育相談

電話相談 [小・中・高校生やその保護者対象]

相談者の名前や学校名は尋ねませんので気軽に相談できます。24 時間子供 SOSダイヤルやメールでの教育相談も案内しています。

来所面接相談

[小・中・高校生やその保護者]

心理臨床相談員との専門的な面接相談（予約制）です。



スクールカウンセラー配置 & 学校巡回カウンセラー派遣

市立中・高と小学校 15 校にスクールカウンセラーを配置、小学校 100 校と特別支援学校に学校巡回カウンセラーを派遣しています。



教育相談に係る研修・研究

- リクエスト研修（教育相談・かわさき共生＊共育プログラムなど）
- 夏季希望研修
- 支援教育コーディネーター研修
- 長期研究員による研究 など

◆教育相談的な視点から、児童生徒をより深く理解し、一人ひとりに寄り添った支援・指導をすることができる教員を養成するための研修の実施や、不登校未然防止を中心とした校内の環境づくりやアプローチの方法などの研究をしています。

特別支援教育センター

児童・生徒の相談や支援、学校の支援教育に関する支援を充実させます

総合教育センターでの各種相談はこちら↓↓



特別な教育的ニーズのある子どもの 相談や支援の充実

特別な教育的ニーズのある子どもやその保護者、学校への適切な相談と必要な支援を行います。

一般教育相談

学習面、行動面、対人面等についての教育相談を行っています。

就学・進学相談、入級相談

適切な学びの場を提案・確認していきます。

学校コンサルテーション

就学・進学相談フォローアップ

学校の支援教育に関する支援の充実

インクルーシブ教育システムの構築を理念に、各学校の「児童生徒を支援する力」をさらに支えるよう支援教育課と連携し、各事業を推進します。



校内支援体制づくりの支援

◆その他、研修・研究の充実で各学校・教員を支援していきます。

令和8年度 教育委員会研究推進校等を紹介します

目的と研究推進校等の様子

川崎市の教育の発展に向けて、各学校が児童生徒や学校、地域等の実態に応じて創意工夫を生かした特色ある教育を展開する中で、各教科等及び教育課程実施上の諸課題について研究し、その成果を本市の学校教育の充実発展に資することを目的としています。研究期間は2年間（内容によって1年間）としています。



校内研修会を実施して、指導主事から学ぶ教職員の様子 x

報告書にまとめた内容を総合教育センターサイト（GIGA 端末内のサイト）に掲載し、各校に共有
※令和7年度研究推進校の一例

令和8年度 川崎市教育委員会 研究推進校
特別活動研究まとめ

研究主題
「話し合い活動の充実による
学級集団力の向上」



令和8年度 教育委員会研究推進校等一覧（5月25日現在）

総合教育センター

令和7・8年度 小学校各教科等

研究教科等	学校名
国語	末長小学校
社会	西菅小学校
算数	殿町小学校
音楽	宮前小学校
体育	登戸小学校
特別活動	戸手小学校

令和7・8年度 教育課題

研究教科等	学校名
高校教育	川崎総合科学高等学校
特別支援教育	中央支援学校

令和7・8年度 異校種間連携教育

研究教科等	学校名
異校種間連携 中高連携教育	川崎高等学校 川崎高等学校附属中学校
異校種間連携 高大連携教育	橘高等学校

令和8・9年度 小学校各教科等

研究教科等	学校名
国語	南百合丘小学校
算数	片平小学校
道徳	生田小学校

令和8・9年度 中学校各教科等

研究教科等	学校名
国語	有馬中学校
社会	井田中学校
数学	野川中学校
理科	西中原中学校
音楽	東高津中学校
保健体育	高津中学校
技術・家庭 (技術分野)	金程中学校
外国語 (英語)	南加瀬中学校
総合的な 学習の時間	塚越中学校
特別活動	大師中学校

令和8・9年度 教育課題

研究教科等	学校名
教育課題	麻生中学校

令和8年度

かわさきGIGAスクール
構想推進協力校

学校名
南河原小学校
古川小学校
新小倉小学校
上作延小学校
稲田小学校
川崎中学校
南河原中学校
日吉中学校
玉川中学校
井田中学校
東高津中学校
中央支援学校
幸高等学校

令和8年度

かわさき共生＊共育
プログラム研究協力校

学校名
新町小学校
南加瀬小学校
平間小学校
梶ヶ谷小学校
富士見台小学校
宿河原小学校
長沢小学校
川崎高等学校附属中学校
日吉中学校
平間中学校
西高津中学校
平中学校
南菅中学校
柿生中学校
高津高等学校(全)
高津高等学校(定)

教育政策室 令和8年度

キャリア在り方
生き方教育

学校名
南原小学校
南生田中学校

令和8・9年度

人権尊重教育
(多文化共生教育)

学校名	学校名
古市場小学校	虹ヶ丘小学校
南菅中学校	

人権尊重教育実践推進校

学校名	
さくら小学校	桜本中学校

学校教育部

令和8年度 学校防災教育

学校名	
川崎小学校	西高津中学校
夢見ヶ崎小学校	菅中学校
土橋小学校	幸高等学校
長沢小学校	